

7 経 済

県産うまいもん
全国にアピール

名古屋で食の祭典

【名古屋】日本最大級の食の祭典「ドームうまいもんワールド」(主催・同実行委員会など)が3日、名古屋市のナゴヤドームで始まった。写真。県内から、モスクの新商品やジェラート、豚肉まんじゅうなどが出店、アピールした。NPO法人沖縄クローカルインキュベーション(OGI)は、勝連漁協と共同開発した「もずくジュレ」を県外で初めて本格的に売り出し

た。熊本県産のしょうゆにもずくのペーストをミックスした天然の成分で、全国的に注目されるジュレ状の調味料を作り出した。モスク天ぷらを店頭で揚げ、ジュレを添え、販売した。煮詰めたタマネギともずくでつくったスプレッ



ド「たまもず物語」を商品化、試験的に販売した。

OGIの岡田純理事は「モスクの付加価値をつけることで生産に弾みが付く。『たまもず物語』は市場の動向を踏まえた商品開発の一例として提案した」と話した。

勝連漁協の玉城謙栄参事は「新商品を全国的にPRするいいチャンス。販路拡大につなげたい」とした。

a n 石垣ジェラートと沖縄紅豚肉まんのがんじゅうも出店した。

出店数は250。6日までの期間中、15万人の来場者を見込んでいる。